

(2) 東北



東北地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は持ち直している。
- ・ 個人消費は足踏みがみられる。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

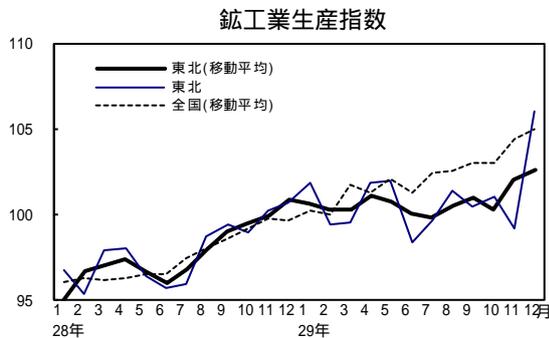
前回調査からの主要変更点

| | 前回 (平成 29 年 11 月) | 今回 (平成 30 年 2 月) | |
|-------|-------------------|------------------|--|
| 鉱工業生産 | 持ち直しの動き | 持ち直し | |
| 住宅建設 | おおむね横ばい | 減少 | |

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は持ち直している。

10 - 12 月期には、電子部品・デバイス、車載、スマホ向け需要が引き続き好調なことからコネクタ等が増加した。はん用・生産用・業務用機械は、アジアでの需要の高まりなどにより産業用ロボット等が増加した。食料品・たばこは、清酒、水産加工食品等が減少した。情報通信機械は、ノート型パソコン等が減少した。輸送機械は、自動車用エンジン等で減少した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

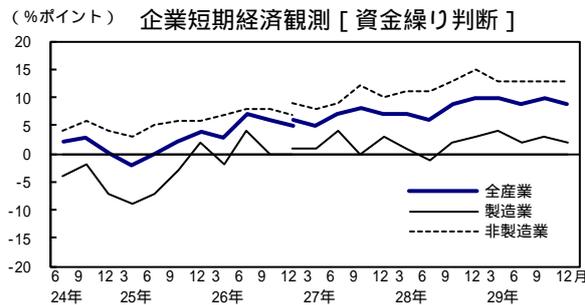
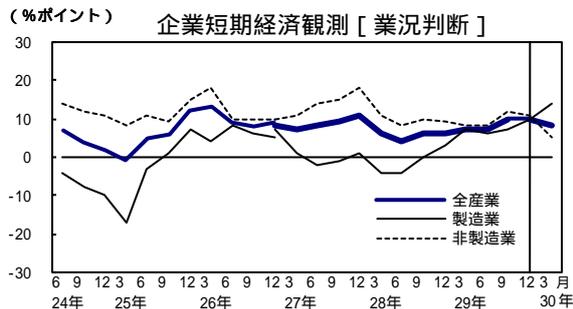
| | 付加価値 ウェイト | 生産 | | | | |
|---------------|--------------|-------------|---------------|------|------|------|
| | | 7 - 9 月期 | 10 - 12 月期 | 10 月 | 11 月 | 12 月 |
| 電子部品・デバイス | 16.9 | 1.1 | 8.0 | 6.2 | 2.2 | 3.1 |
| はん用・生産用・業務用機械 | 14.7 | 7.5 | 0.6 | 6.9 | 2.1 | 26.8 |
| 食料品・たばこ | 10.6 | 2.7 | 2.1 | 5.8 | 3.2 | 3.6 |
| 情報通信機械 | 9.2 | 1.7 | 3.8 | 3.0 | 6.7 | 10.6 |
| 輸送機械 | 8.3 | 2.9 | 3.8 | 3.8 | 1.2 | 4.6 |
| 鉱工業 | 100.0 | 0.2 | 1.6 | 0.5 | 1.8 | 6.9 |

(備考) 1. 22年=100、季節調整値。最新月は速報値。
2. 全国及び東北の太線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。
2. 10 - 12 月期、12 月は速報値。

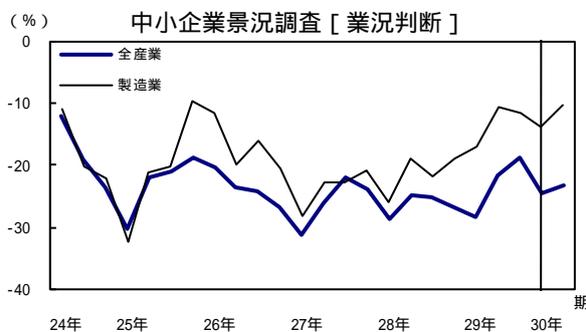
(2) 日銀短観における業況判断は「良い」超幅が、資金繰り判断は「楽である」超幅がそれぞれ横ばいとなっている。

企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。30年3月は予測。
26年12月は新・旧基準を併記。

(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
26年12月は新・旧基準を併記。

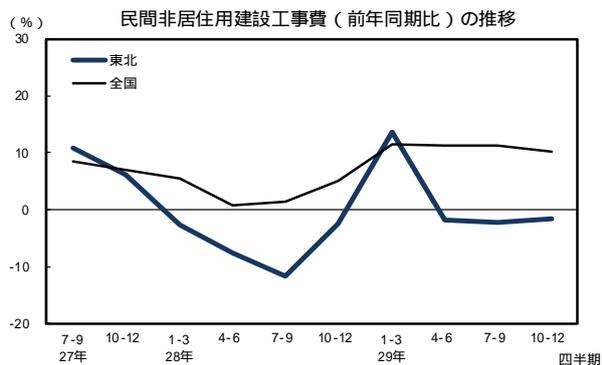


(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。30年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(1月調査結果)[企業動向関連(現状)]

「新規の引き合いが増えてきている(金属製品製造業)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は前年に比べて減少している。



企業短期経済観測調査[設備投資(12月調査)]

(前年度比、%)

| | 28年度実績 | 29度計画 |
|------|--------|-------------|
| 全産業 | 15.9 | 2.7 (1.5) |
| 製造業 | 22.3 | 3.0 (2.8) |
| 非製造業 | 9.3 | 2.3 (0.0) |

(備考) ()は前回(9月)調査比修正率。

(備考) 29年4-6月期以降は国土交通省「建設統計月報」の非居住用建築物工事費予定額を平均工期9.8か月で進捗展開し、その伸び率を基に実績額を延伸。

(2) 東北

2. 需要の動向

(1) 個人消費は足踏みがみられる。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

10月は前月比0.4%増、11月は同0.3%増、12月は同0.4%減となった。

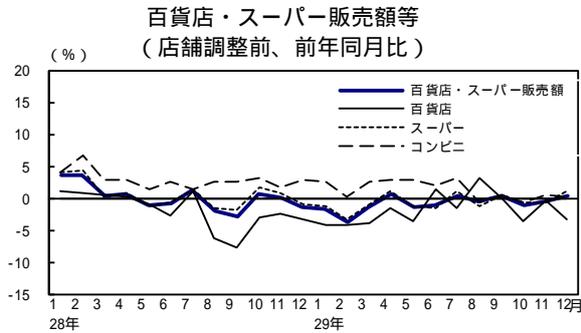
百貨店・スーパー販売額

百貨店は、10月は、台風の影響で客足が伸びなかったことに加え、一部店舗の売場面積縮小の影響により飲食料品が減少したことから前年を下回った。11月は、スキンケア用など高級化粧品に動きがあったほか、美術・宝飾・貴金属は高級時計が堅調であったものの、衣料品が前年の催事の反動や売場面積の減少などにより、前年をわずかに下回った。12月は、引き続き化粧品が好調で、高級時計などの高額品にも動きがみられたものの、降雪の影響などで来店客数が減ったことなどから前年を下回った。

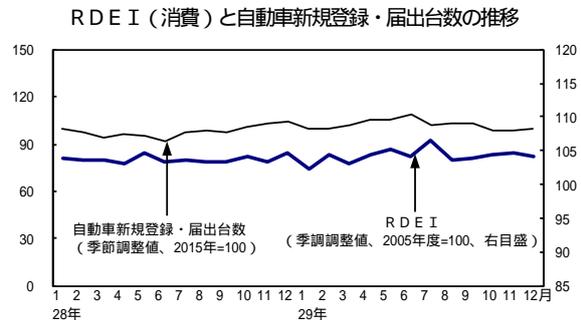
スーパーは、10-12月期は、衣料品は前年を下回ったものの、飲食料品は前年を上回った。

景気ウォッチャー調査 (1月調査結果) [家計動向関連 (現状)]

「正月三が日は天候に恵まれ、初詣帰りに商店街に立ち寄る客が目立った。しかし、正月明けからは、降雪や寒波の影響で来街者数は減少傾向にある。また、経営者が高齢で後継者不在のため12月末で廃業した美容室もある (商店街)」など「やや悪くなっている」とする回答が増加した。



| | 29年10-12月 | 29年10月 | 11月 | 12月 |
|--------------|-----------|--------|-----|-----|
| RDEI (消費*1) | 0.2 | 0.4 | 0.3 | 0.4 |
| 百貨店・スーパー(*2) | 0.4 | 1.1 | 0.4 | 0.3 |
| 百貨店(*2) | 2.4 | 3.6 | 0.2 | 3.2 |
| スーパー(*2) | 0.1 | 0.6 | 0.5 | 1.1 |
| コンビニ(*2) | 0.0 | 0.5 | 0.5 | 0.2 |
| 乗用車(*3) | 3.0 | 0.9 | 4.2 | 3.8 |
| (季節調整値)(*3) | 3.4 | 3.6 | 0.1 | 1.4 |



(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

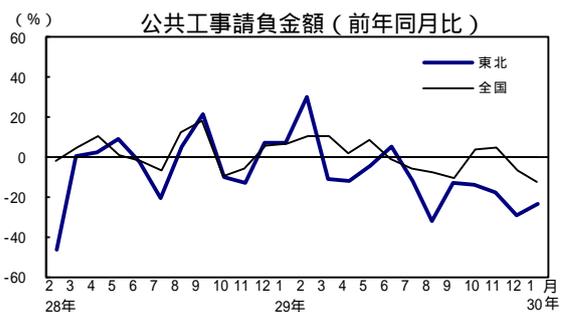
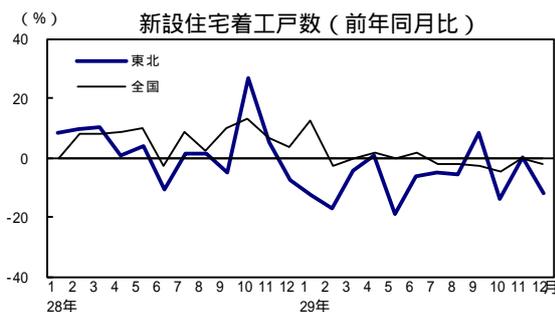
2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

3. 乗用車は、新規登録・届出台数 上段は前年同期(月)比 (%)

(2) 住宅建設は前年に比べて減少している。

分譲が前年を上回ったものの、持家、貸家が下回ったことから、全体では減少している。

(3) 公共投資は29年度累計で見ると前年度を下回っている。

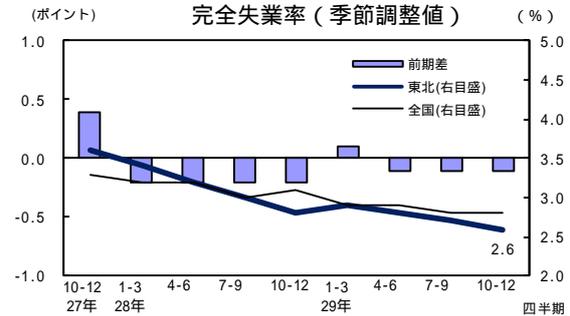
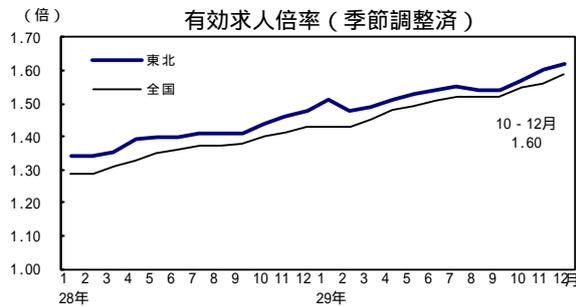


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を下回っている。



景気ウォッチャー調査 (1月調査結果) [雇用関連 (現状)]

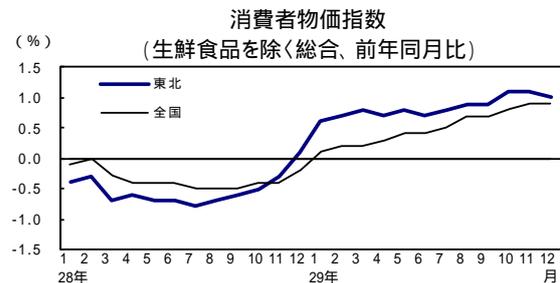
「採用難が続いているため、中小企業の採用活動が活発になっている。ハローワークなどによる採用が難しくなった企業が、お金を掛けて募集をするという傾向が強まっている (人材派遣会社)」などの回答がみられた。

(2) 企業倒産は前年に比べて件数は横ばいであるものの、負債総額は増加している。

(3) 消費者物価指数は前年比の上昇幅が拡大している。

企業倒産

| | (件、億円、%) | | | | |
|-------|----------|------|------|--------|-------|
| | 29年1-3月 | 4-6月 | 7-9月 | 10-12月 | 30年1月 |
| 倒産件数 | 69 | 82 | 82 | 90 | 23 |
| (前年比) | 20.7 | 10.9 | 3.8 | 0.0 | 14.8 |
| 負債総額 | 150 | 126 | 136 | 250 | 94 |
| (前年比) | 16.0 | 37.5 | 24.7 | 43.6 | 22.1 |



景気ウォッチャー調査 (1月調査結果) [合計 (特徴的な判断理由)]

<現状>

・地元空港への新規LCCの就航の影響により、全体の売上を押し上げている。また、これらを利用した商品の売行きが好調である (旅行代理店)

<先行き>

・今月はクリアランス期間の売上が厳しく、寒波により来客数が減少するなど状況が良くなかった。そのため、この先は気温の上昇や定価品の入荷により、逆に購買意欲が高まってくるとみている (百貨店)

景気ウォッチャー調査 (季節調整値)

